

ホームページもご覧ください

<http://www.komei.or.jp/km/kofu-hyodo-kenji/>

皆様方には日頃から温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。  
皆様方の声をお届けしようと、議会活動を通じて  
市政への様々な角度からの提言を行ってまいりました。

議員の役割は何と言っても市民生活の向上、福祉の増進を実現するために、議会活動を通じて、様々な提言を行っていくことにあります。

3期目の任期もはや1年が過ぎました。  
9月定例会で久しぶりに一般質問に登壇しました。  
10年後の甲府の未来像を見据え、今この時点での  
目指すべき方向を確認する観点からの提言を行いました。



## 1 減災の取り組みについて

### (1) 質問内容と答弁要旨

○大規模災害発生時の物資の受け入れと配送方法について質問

← 市の拠点（総合市民会館）から各指定避難所へ

・アクセス道路の状況を考慮して、複数の運送業者と協定を締結し、「陸路で」物資が何らかの形で届くように準備している

○指定避難所が何らかの事情で使用できないときに物資の搬送場所として代替の場所を考えておく必要性について質問

← 検討を進める。

### (2) 質問の視点

○3. 11以来、備蓄品の充実とともに、避難所生活の長期化、物流のストップ、ライフラインの寸断など、考えうるあらゆる想定をしておくことの重要性を再度確認する。

○熊本地震では、避難所自体の被災事例もあり、万が一避難所が使えない場合での物資の搬送場所をあらかじめ準備しておくことが重要。

○特に道路事情の悪い避難所もあり、物資が到達できない場合も考えられる。

### (3) 共通認識が得られた事項

○市では、狭隘道路等の事情も考慮して物資の搬送について複数の運送業者への委託を考えている。

○万が一の場合も考慮して、避難所以外の場所に物資を搬送することも想定。

## 2 路面下空洞調査について

### (1) 質問内容

- ①路面下空洞調査の国土強靱化計画への位置づけと定期的な調査の実施の要請
- ②地域防災計画への位置づけへの検討の要請
- ③調査の精度確保の観点からの業者選定の考え方

### (2) 質問の視点

- 3. 11の際、地下の空洞が原因とされる道路陥没により、緊急車両の走行不能や救援物資搬送に大きな障害となったことへの反省
- 最初の質問で物資搬送等が「陸路」中心であることから、空洞化による道路陥没の危険性を平時から取り除く必要性を指摘する意味がある。

### (3) 今後の展望

- 引き続き、機会をとらえて空洞化調査の各計画への位置づけを求めていく

## 3 人の流れをつくることについて

### (1) 質問内容

- ①若年世代の市内への定着を狙いとして、市内企業へ就職した場合に返還を免除する奨学金制度の創設の提言
- ②進学等で市外へ転出した若者が甲府に戻ってきたいと感じるための「甲府の魅力」をどうとらえるか

### (2) 質問の視点

- 人口減少対策として「地方への人の流れ」をつくることの重要性が指摘されているが、特に若年層の甲府への定着の流れをつくることが重要。
- そのためのインセンティブと、戻りたいという気持ちを後押しするのはなんとんでも「ふるさと甲府の魅力」ととらえる。

### (3) 今後の展望

- 奨学金制度については、国の給付型奨学金、県の奨学金制度の創設の推移を見る。
- いわゆる「ふるさと愛」の醸成について引き続き訴えていく。

## 4 甲府の都市像実現のための方向性について

### (1) 質問内容

- 10年後の甲府の都市像実現のためには、今後の地域づくりの主体となるべき子どもたちに光をあて、その活躍できる場、主役になれる場を地域で増やしていく取り組みが重要と考えるが見解を問う。

### (2) 質問の視点

- 大規模災害を乗り越えるためには地域コミュニティが益々重要。
- 地域の持続可能性という視点からは、次代を担うのは確実に子どもたちの世代であり、地域活動とのかかわりを今のうちから持たせることが肝要。

### (3) 今後の展望

- 青少年の育成活動はこれまでも取り組みがされているが、地域生活の一部として子どもたちが主役となる場づくりを進めていく。